

内閣総理大臣 安倍晋三 様
衆議院議長 大島理森 様
参議院議長 山東昭子 様
最高裁判所長官 大谷直人 様

私たちは「即位礼正殿の儀」「大嘗祭」に反対します

私たち日本バプテスト連盟理事会は、天皇即位において行われる「即位礼正殿の儀」及び「大嘗祭」が、日本国憲法の崇高な理念である平和主義、国民主権と基本的人権の尊重（特に信教の自由と政教分離原則）に反するものとして強く反対します。

私たちは基本的人権の中核である信教の自由と政教分離原則を主張するキリスト教プロテスタントの一教派です。しかし私たちはかつての大戦下、天皇を「現人神（あらひとがみ）」（注1）とする天皇制国家に膝をかがめ、アジア諸国の人々に多大な悲しみと苦しみを強いる侵略戦争に加担する過ちを犯しました（『戦争責任に関する信仰宣言』1988年8月26日）。その戦争責任告白に立つ者として、私たちは前天皇の代替わりに際し『即位の礼』『大嘗祭』に反対する声明を公にしています（1989年11月8日）。

政府はこのたびの「即位の礼正殿儀」及び「大嘗祭」を先の天皇代替わりの諸儀式を踏襲して行おうとしていますが、「即位の礼正殿の儀」は、天皇神話に基づくとされている「高御座（たかみくら）」に天皇が座して即位を宣言し、国民主権を体現する三権の長が下から拝し、首相が「天皇陛下万歳」と唱えらるとされており、国民主権を謳う日本国憲法を蔑ろにするものです。また「大嘗祭」は、天皇と呼ばれる一人の人間が天皇家の祖先神と寝食を共にすることにより、それと同じ立場に立つための儀式、つまり「現人神（あらひとがみ）」とする儀式です。この「大嘗祭」は祭政一致であった古代の文献に記録があるとはいえ、現在の様式は大日本帝国憲法下で皇室神道を国民統合に利用するために整えられた宗教儀式であり、頂点に立つ天皇を神格化し、その下で「八紘一宇」（注2）の思想を世界に広げる戦前の国家戦略を表すものでした。このように皇室神道による宗教儀式であり、かつての侵略戦争を正当化する思想を下敷きにした「大嘗祭」は日本国憲法の平和主義を脅かし、日本を再び戦争ができる国にしようとするものであり、この儀式に公費が支出されることは明らかな政教分離違反です。さらにこの儀式に全国の都道府県知事の全員に参列が要請されていることは、すべての国民に神道的価値観を押し付け、個人の信教の自由を侵すものと言わざるを得ません。

それゆえ私たちは、このたびの天皇代替わりに際して行われる「即位の礼正殿の儀」と「大嘗祭」に反対すると共に、行政府の長などが、日本国憲法の崇高な理念である平和主義、国民主権、並びに基本的人権の尊重を厳格に遵守することを強く求めます。

2019年9月12日

日本バプテスト連盟理事会

（注1）「現人神」とは、被造物に過ぎない人間を「神」として崇拝する対象とすること

（注2）「八紘一宇」とは、第二次世界大戦中の日本で盛んに用いられた標語で、全世界を一軒の家のようにし、天皇のもとに従わせようとする思想。